

2021年度 入学試験解答用紙〔社会〕(35分)

第1回 2月1日実施 吉祥女子中学校

1

問1	問2	問3	
エ	オ	白 鳳	文化
問4	問5		問6
イ	山 名 持 豊		ウ
問7	問5別解「山名宗全」		
イ			
問8			
浅間山の噴火などによって凶作となり、 天明の大ききんが起っていたこと。			
問9	問10	問11	
ウ	第一次世界大戦	ア	
問12			
ア	2点×12		
問13	問14		
ア	エ	1点×2	

24

2

2

問1	問2
ウ	児 島 湾
問3	
曲がりくねっていた川の流路を まっすぐにしたため。	

2点×3
6

問4	問5	問6	
ア	エ	長崎 イ	鹿児島 キ
問7	問8	問9	問10
イ	エ	ウ	カ
問11		問12	
カル デ ラ 湖		超 高 齢 社会	
問13	問14		
エ	ア	1点×2	

問6は完答

2点×9

18

2

3

問1	問2	問3
イ	イ	ウ
問4		
表 現 の 自 由		
問5		
建 設 国 債		
問6	問7	問8
ウ	ア	エ
問9	問10	
エ	ア	

2点×8

16

1点×2

2

受 験 番 号	氏 名	得 点
	模 範 解 答	70

〔記述式解答の採点について〕

第1回 1 問8

【模範解答例】

浅間山の噴火などによって凶作となり、天明の大ききんが起っていたこと。
(2点)

【採点のポイント】

→ ①浅間山の噴火が起ったこと (1点)

②天明の大ききんが起った(大ききんが起った) こと (1点)

グラフA(1781～1790年)の時期に百姓一揆や打ちこわしが多い背景を述べる問題です。「絵図に描かれたできごととその影響にふれて」という条件がついています。絵図<夜分大焼之図>をあらかじめ知っている必要はなく、山頂から煙や灰が吹き出していることから、「噴火」の様子を描いたものであると読み取ることが求められます。そしてグラフAの時期に起った噴火は「浅間山の噴火」です。

次に噴火の影響を考えます。浅間山の噴火が起ったのは1783年ですが、その前から全国的に天候不順による凶作が発生していました。そこにこの浅間山の噴火が起り、火山灰や火砕流で田畑が埋まり、日射量も激減してより凶作となります。特に北関東や東北地方では餓死者が相次いだと言われています。こういった一連の凶作による食糧不足が、「天明の大ききん」と呼ばれるできごとで、この大ききんを背景に、百姓一揆や打ちこわしが各地で多発しました。

「ききん」とは、農作物が十分に実らず、食物が欠乏して人々が飢え苦しむことを意味します。したがって、「ききん」という言葉がなくとも、凶作になったこととそれによって深刻な食糧不足になったこと(人々が飢えたこと)が説明できていれば必要なポイントを満たしていると判断しました。

「噴火」を「墳火」としていたり、「ききん」という言葉の意味を理解せずに解答しているものが多くありました。学習を進める際には、単語の意味や、そのできごとの原因・結果を意識することが大切です。また正確な漢字で書けるよう練習を重ねましょう。

【部分点を与えた解答例】

- ・ききんがおこり、米が不足したり、浅間山が噴火した。(1点)
- ・火山が噴火し、米が凶作となったから。(1点)

→一つ目の例では、ききん・浅間山の噴火という二つのキーワードを挙げています。しかし、「絵図のできごととその影響」という条件のうち、浅間山の噴火の影響については述べられていません。問題文の条件を満たしていないという点で満点解答にはなりません。また二つ目の例では、火山が噴火したという部分で1点を与えました。しかし、この間は「なぜ大ききんがおこったか」ではなく、「一揆や打ちこわしが増えている背景」を聞いています。凶作になったことに加え、人々の食糧が不足したという点まで示す必要があります。

【得点を与えなかった解答例】

天候不順が続き、農作物への被害が大きく、生活が苦しかった。

→この例は、「絵図に描かれたできごととその影響にふれる」という条件を満たしていません。もちろん、Aの時期に百姓一揆や打ちこわしが多発した理由は天候不順も考えられます。しかし、この問題の指示に答えているとは言えない答案のため、得点を与えませんでした。

第1回 2 問3

【模範解答例】

曲がりくねっていた川の流路をまっすぐにしたため。(2点)

【採点のポイント】

- ①「川の流路が曲がりくねっていた」という点に言及しているか。(1点)
「蛇行していた」や「くねくねしていた」などでもかまいません。
- ②「まっすぐにした」という点に言及しているか。(1点)
「直行化した」や「直線にした」でもかまいません。

【部分点を与えた解答例】

- ・河川の流路を変更したため。(1点)
- ・洪水(氾濫)が起こらないようにしたため。(1点)

→河川の流路が変更されたのは設問文や地図から読み取ることができる事実ですし、その目的の一つが洪水(氾濫)を防ぐことであったのも間違いありませんが、この設問で問われている、河川と境界が一致しなくなったことを説明するにはやや不十分です。設問文には「以前と同じように境川を都と県の境界とする」とありますから、変更前の境界がかったの境川の流路であったことを理解し、それが蛇行していたことを書く必要があります。ただし、全体として間違っただけを書いているわけではありませんので、1点を与えました。

【得点を与えなかった解答例】

- ・川の両側に東京都と神奈川県がまたがっているから。
- ・川が両岸を侵食したから。

→境界の変更前に川の両側に互いの領域がまたがっていたのは事実ですが、この解答は河川と境界が一致していなかった状態を述べているだけです。また、河川の侵食作用によって河川が直行化する場合がありますが、この解答はその原因を述べているだけです。よってこれらの解答には得点を与えませんでした。